



黒白フィルム用 アルカリ迅速定着液

TP Fix

概要

TP Fixは、現像液「東京パイロ」に最適化するように調整された弱アルカリ性の無硬膜迅速定着液です。東京パイロ以外の現像液や印画紙の定着に使用することもできます。匂いが少ないことも特徴です。

製品内容

濃縮液タイプ

そのまま水で希釈して使用します。

粉末タイプ

粉末状の薬品が2袋入っています。2袋で1セットです。水に両方の薬品を溶解して使用します。

調合方法

濃縮液タイプ

水で2~4倍に希釈して使用してください。1パックの濃縮液に水を加えて500mlが推奨濃度です。

粉末タイプ

60°Cの水450mlに薬品粉末を徐々に加えながら溶解します。溶解する袋の順番はどちらが先でもかまいません。溶解前に両方の袋の粉末を混合しないようにしてください。溶解時に弱い硫黄臭がすることがありますので、必ず換気をしながら作業してください。完全に溶解後、水を加えて500mlとし、液温が室温まで下がれば使用できます。

原液をそのまま使用するか、水で希釈しても使用できます。希釈は2倍（1+1）程度までを目安にしてください。希釈すると保存性は下がります。

定着時間



現像液の液温になるべく近い温度（±5°C程度）で使用してください。リールタンクでのマニュアル現像の場合は、最初の30秒間を連続攪拌、その後30秒ごとに3回攪拌してください。高感度フィルムや120サイズフィルムは連続攪拌の時間を長くってください。

定着時間：2~4分

水洗

流水で5~10分水洗します。水洗促進剤の使用はステインの生成を抑制するため、あまりおすすめできません。

二浴定着

二浴定着は経済的な方法なのでおすすめです。処理能力の落ちた定着液で最初に1分程度処理し、その後、新しい定着液で完全に定着処理します。この方法により、定着液を効率よく使用することができます。

クリアタイムによる定着時間の確認方法

フィルムの切れ端を使って定着時間を確認することができます。ストップウォッチと未処理のフィルムの切れ端を用意し、テストしたい定着液に浸し攪拌します。フィルムが完全に透明になるまでの時間（クリアタイム）を計測します。完全に定着のための時間は、通常はクリアタイムの3倍です。

TP Fixの新液のクリアタイムは中感度フィルムで10~20秒と非常に迅速です。定着ムラを避けるために最短でも1.5分は定着処理をしてください。T粒子フィルムはクリアタイムと定着時間が長くなります。

クリアタイムが40秒を超えたら、新液に交換してください。古い液は上記の二浴定着に使用できます。

処理能力

500mlのTP Fixで35mmフィルム25本の定着処理ができます。ただし、TP Fixは染色現像液のステイン生成を優先しているため、一般的な酸性定着液に比較して少し寿命が短くなっています。溶解後、しばらく時間が経った定着液は、使用前に上記のクリアタイム計測により定着時間を確認してから使用してください。

写真現像薬品の扱いについて

写真用処理薬品は、正しく使用すれば危険性はありません。すべての写真用処理薬品を取り扱い、混合するときは、手袋、保護メガネ、エプロンまたはオーバーオールを着用することをお勧めします。使用済み



薬品の破棄方法はお住まいの自治体により定められています。写真廃液を業者に回収してもらうこともできます。ネット検索で近隣の業者を探ることができます。安全データシート（SDS）は東京オルタナ写真部 tokyoaltphoto.com で入手できます。

TP FIX 詳細ページ

<https://tokyoaltphoto.com/tp-fix/>



2023年5月1日